

中建協会広報

発行所
一般社団法人秋田中央建設業協会
発行人

田中道

〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号
TEL 018-862-7778
akenkyo@akenkyo.or.jp

秋田中央建設業協会 検索

金農高校生によるインターンシップを実施

7月25日～8月5日の期間中の3日間にわたって金足農業高校環境土木科2年生によるインターンシップが実施されました。

当協会の受け入れ事業所12社に対して金足農業高校の2年生25名が参加して行われました。

今回は、(株)伊藤組さんと藤田建設(株)さんで行われた実習の様様をご紹介します。

(株)伊藤組さんの実習には、金足農業高校の杉淵夢斗さんと阿部陽成さんが参加しました。農地集積加速化基盤整備事業四ツ小屋南地区の補助作業に従事し、測量や重機の試乗などを行いました。



藤田建設(株)さんの実習には中泉暖さんと佐々木嶺さんの2名が参加しました。道路総合防災対策工事

船越陸橋の墨出し作業を行ったほか、農地集積加速化基盤整備工事金足西部地区においてドローン撮影等を行いました。



4人の生徒さんからは「普段何気なく見ていた工事現場だったが、実際に暑さの中で実習を体験してみて、道路や田んぼを見る目が変わった」、「橋の工事は普段間近で見ることができないのでとても貴重な体験だった」との感想がありました。

(株)伊藤組の山内工事課長さんからは「この実習をきっかけに地元の企業に興味を持ってもらえたら嬉しい」藤田建設(株)の佐々木現場事務所長さんからは「物覚えが早く積極的で頼もしい、今回の経験を将来の進路に役立ててほしい」とのお話がありました。酷暑と豪雨の中、3日間お疲れさまでした。

農地集積加速化基盤整備事業 野村地区

秋田地域振興局 農林部 農村整備課

【事業概要】

本地区は男鹿半島の北西部に位置し、日本海に臨んだ地区面積45.4haの水田地帯です。関係集落は野村、湯之尻、湯本、西水口の4集落、用水源は一ノ目潟ため池の1水系となっています。

ほ場の区画は未整備のため狭小で不整形、分散農地も多く作業効率が低いことに加え、用排兼用の土水路であり水管理にも苦慮していました。

こうしたことから地元からの基盤整備に対する強い要望があり、令和2年度に「ほ場整備事業」が採択されました。

ほ場の区画拡大、暗渠排水、地下かんがいシステム、用排水路、農道の整備などを行い農作業の効率化や農地の汎用化を促進するとともに、農地集積・集約化、高収益作物などの産地づくりを一体的に取り組んで収益性の高い農業経営の実現を目指しております。

【事業計画】

○ 事業内容

整地工	A=45.4ha
道路工	L=12.8km
水路工	L=22.8km

○ 総事業費 1,151百万円

○ 工期 令和2年～7年(予定)



【進捗状況】

令和3年度から面工事が始まり、今年度工事と併せて約34haが整備される見込みです。これは地区面積45.4haのうち約75%にあたり、計画どおり進捗しています。



知事と県民の意見交換会

「令和4年度知事と県民の意見交換会」が7月19日（火）秋田中央建設業協会女性部会の7名が出席し、県議会棟特別会議室で開催されました。



当日は、大友円さん（秋田瀝青建設㈱）、菊地千春さん（㈱清水組）、二見千穂さん（中央土建㈱）、今野恵美子さん（秋田舗道㈱）、目黒康子さん（加藤建設㈱）、秋山めぐみさん（藤田建設㈱）、山方芽衣さん（伊藤工業㈱）の7名が出席し、「女性が活躍できる建設業界を目指すためには」のテーマで議論しました。

出席者自己紹介の後、現状報告及び事例発表として、大友女性部会長からは秋田中央建設業協会女性部会の活動報告、山方さんからは新複合化相談施設（仮称）建築工事の概要紹介の後、フリーディスカッションを行い、建設業を目指した動機や建設業の魅力、各社の就労環境、魅力ある建設業にするための意見が述べられました。

建設業の魅力は、「地図に残る仕事」「完成後の達成感」「子供に自分が作った道路（建物）と自慢できる」などの意見が、また、就労環境については「女性や若手社員に対する周囲の理解やフォローが重要」であり「悩みや不安が相談できる女性管理職の増加が望まれる」などの意見がありました。

また、「小中学生相手の現場見学や出前講座を行い、建設業の魅力を知ってもらいたい」「女性でも活躍できることを発信していきたい」などの情報発信の必要性が今後の取り組みとしてあげられました。



最後に佐竹知事から「業界の女性に対する実態やそこで働く皆さんのおかれた立場・考えを知ることができた。制度の改善も進んでおり、周囲に現在の建設業について理解してもらう為に、視覚的なPRが必要」とのコメントをいただき、意見交換会を終了しました。



労働災害防止に関する 秋田地区建設工事関係者連絡会議

令和4年7月21日（木）午後2時から秋田市文化会館において、秋田地域振興局と各市町村の発注機関、建設業労働災害防止協会秋田県支部秋田分会・各建設業協会等の事業者団体および秋田労働基準監督署の各機関から28名が参加し標記会議が開催されました。

この会議は「国土強靱化基本法」の成立に伴い、防災設備の整備等に伴う建設工事や自然災害による復旧工事の増加等を背景に、人材不足が新たな課題となり、人材の質の維持や現場管理に支障を来すことが懸念されることから「発注者・施工者等の労働災害防止関係者」が緊密に連携し、労働災害の一層の減少を図ることを目的に平成27年に設置、毎年開催されています。

秋田労働基準監督署佐々木署長、秋田地域振興局近藤建設部長の挨拶に続き、建設業における監督指導結果及び働き方改革に関する取り組み等、建設業における労働災害発生状況、安全衛生対策等について説明がありました。

令和3年10月1日から同月31日までの「建設業における災害防止集中取組月間」に、県内で施工中の中小規模建設工事現場に対し集中的に監督指導を実施した104現場103事業場に対し、労働安全衛生法に係る違反があった現場は46現場、103事業場数で、違反率に換算すると62.0%でした。

主な違反内容は、例年と同様に、墜落防止に関するもの、元方事業者の講ずべき措置、車両系建設機械に関するものが上位を占めています。

また、働き方改革関連法に関して、労働時間法の見直しについての説明や、安全衛生対策の推進に係る労働者の安全確保のための対策及び健康確保のための対策などが説明がなされた後、労働災害防止のためのICT活用データベースの紹介やICT技術を活用した工事内容と効果等の紹介があり、最後に令和4年度の安全パトロール日程の確認を行い終了しました。

建設産業に携わる女性技術者及び若手技術者との意見交換会

秋田県建設産業活性化センターでは、県内各管内の建設産業における女性技術者や若手技術者との意見交換会を開催し、県のさまざまな取組に対する現場目線の意見を聞きました。秋田管内では7月13日（水）開催され、(株)菅与組 中道航太さん、(株)沢木組 高橋拓永さん、秋田舗道(株) 佐藤和樹さん、(株)清水組 田村唯さん、伊藤工業(株) 大友朝陽さんの6名が出席し、働きやすい職場環境や処遇、建設DX等について意見を述べ合いました。



フォーラム

『がんばろう!東北』が開催されました

「東北の社会資本整備を考える会」（東北経済連合会、東北六県商工会議所連合会、東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会、東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会、東北建設業協会連合会）主催のフォーラム「がんばろう!東北」が7月13日（水）仙台市江陽グランドホテルで、東北・北海道の地方自治体や関係団体などから約330名の参加者を集めて開催され、当協会からは珍田工業(株) 珍田伸一社長と(株)セコー 加藤政之社長の2名が参加しました。

はじめに、主催者を代表して増子次郎東北経済連合会会長が挨拶し、来賓として山本巧東北地方整備局長が挨拶を述べました。次に宮城県デ・リーフデ北上の内海なつき氏と福島県割烹やましたの女将鈴木智子氏の意見発表があり、続いて経世論研究所所長で作家の三橋貴明氏による「今こそ土建国家の復活を! 国土強靱化こそが繁栄への道」と題した基調講演が行われました。

最後に、参加者全員で「要望決議」を採択し、閉会しました。